

2011 札幌学院大学 経済学部経済学科



WINMAN

経済学部の教育目標

1. 産業社会で活躍する人材を育成する
2. 日常生活を豊かにする教養を培う
3. 市民社会の形成に参加する自律した人間を育成する



一人一人の学生と向き合う教育をし、学生諸君の「期待」や「夢」の実現を支援する教育をします。

カリキュラムのねらい

1. 経済学を学び、その思考方法、経済社会を分析する能力を育てます。

・「基礎科目群」で基礎的な経済学の思考方法、分析能力を身につけます。

「基礎科目群」には、①経済学の基礎理論（ミクロ経済学、マクロ経済学など）、②政府の政策に関する科目（経済政策、財政学など）、③産業や金融に関する科目（金融論、産業組織論など）、④地域経済や国際経済に関する科目（日本経済論、国際経済学など）、⑤歴史科目（日本経済史、西洋経済史など）があります。

・パソコン実習などを通して実際に統計データの分析を行い、実証的な経済分析の手法を身につけます。

具体的には経済データ分析論や計量経済学、経済統計学などの科目があります。



2. ダイナミックに動く現代経済の諸問題に取り組み、国際的視野と地域視点を持って、社会で活躍する人材を育てます。

・産業経済、政府、地域・国際経済の動きや問題をさらに詳しく学び、国際的視野と地域視点を持って現代経済の諸問題に取り組み、社会で活躍する能力を育てるために、「基礎科目群」とともに「企業・政府科目群」と「地域・国際科目群」を用意しています。

「企業・政府科目群」には、景気循環論、産業連関論、社会保障論、中小企業論、労働経済論などの科目があります。「地域・国際科目群」には、都市経済論、地方財政論、アジア経済論、発展途上国経済論、地域経済史などの科目があります。



3. 産業調査演習、インターンシップなどの科目で実践的な能力を育てます。

経済を知るには自分の目で産業や企業の実際の現場を見ることが必要です。産業調査演習やインターンシップ、経済学特別講義などの科目で現実の経済や企業に触れる機会をつくり、実践的な能力の形成に役立ちます。



カリキュラムの特徴

履修モデルとゼミナール教育

・経済学部では、企業・産業、経済政策、地域経済、国際経済の4つの履修モデルを考えています。この履修モデルにそって科目を選択することにより目的を持って学修することができ、さらに学修の内容を深めることができます。

・経済学部ではゼミナールを各学年に配置しています。ゼミナールは、通常多数が受講する一般的な講義と異なり、少人数で行われます。そのためある分野に関する勉強を深めたり、基礎的な能力を高めたりすることができます。先生やゼミの学生の間で緊密にコミュニケーションがとれます。ゼミ合宿などもおこなわれ、人間的な交流も深められます。

私たちが経済学部を紹介します。



経済学部ではこんなことが学べます 4つの履修モデル



企業・産業

経済政策

国際経済

地域経済

経済学部では、4つの履修モデルを考えています。この履修モデルに沿って科目を選択することにより、目的を持って学修し、さらに学修の内容を深めることができます。

- ・金融業、製造業などの企業の動きを知りたい
- ・中小企業の動向や各産業の特徴を知りたい
- ・インターンシップで実際の企業に接したい
- ・企業の戦略を理論的に学びたい
- ・将来、金融業や流通業などの仕事につきたい



会社員として活躍できるように企業の動きを理解する!!

齋藤 亮太 君
白樺学園高校出身

- ・財政政策・金融政策・環境政策など経済政策を学びたい
- ・政府や地方自治体の財政赤字の問題を知りたい
- ・雇用政策・貧困対策などを学びたい
- ・年金や福祉などの社会保障の問題を考えたい
- ・将来公務員を目指したい



将来の目標は公務員! 地方財政をしっかりと学びたい。

石原 麻衣 さん
本別高校出身

企業・産業 履修モデル

企業や産業および金融の活動を学び、
その中で活躍できる能力を養います。

経済政策 履修モデル

政府の政策や政府の活動が経済社会に
与える影響を中心に勉強します。

国際経済 履修モデル

国際経済、世界の各地域の経済を中心に勉強し、
国際的な視点を養います。

地域経済 履修モデル

地域経済の動向、地域間の経済関係を中心に
地域視点を養います。

- ・中国などアジア経済について学びたい。
- ・アメリカやヨーロッパの経済について学びたい
- ・世界経済の動向、各地域の相互関係を学びたい
- ・発展途上国の状況について知りたい
- ・世界のマネーの動きや為替ルートの変動について知りたい



これからは国際社会。特に中国経済が重要!

森 貴寛 君
江別高校出身

- ・地域経済がなぜこんなに経済状況が悪いのか考えてみたい
- ・地域再生・まちづくりについて考えてみたい
- ・北海道の経済についてもっと知りたい
- ・実際に地域に行って調査してみたい
- ・まちづくりや地域に関わる仕事をしたい



私は北海道でこれからも生活したい。そのためにも地元の経済を理解する!

園部 麻耶 さん
札幌東商業高校出身

4年間の学びのイメージ

—ゼミナール、専門科目、そして進路—

経済学部では4年間一貫したゼミナール教育を行っています。また専門科目は入門科目群、基礎科目群、応用科目群を設けて体系的に経済学を学ぶほか、就職支援も4年間を通して行っています。



専門ゼミナールⅢ 卒業論文

専門ゼミナールⅡを発展させ、より学修を深めるとともに、卒業論文、ゼミナール論文をゼミナール教員の指導の下に作成します。

専門ゼミナールⅡ

専門の経済書を読み、より専門的な知識と分析能力の修得をします。ゼミ生の中で議論もします。

専門ゼミナールⅠ

ゼミのテーマに沿って勉強し、経済分析のための基礎を作ります。

プロゼミナール

新入生のためのゼミナール。経済学への誘い、読み、書き、プレゼンテーション能力などを育てます。

基礎科目群

経済学の基礎をつくります。

応用科目群

「企業・政府科目群」、「地域・国際・科目群」で企業・産業、経済政策、地域経済、国際経済の各分野について理解を深めていきます。

入門科目群

高校の政経と関連させて経済学の学びの基礎を学びます。

全学共通科目

語学のほか、論述・作文、コンピュータ基礎などの教育スキルを上げる科目や教養科目を学びます。

職業と人生Ⅲ・Ⅳ

ひとりひとりが明確な目的意識をもって学業に取り組む姿勢をはくくみ、主体的に自己の進路を選択・決定できる能力や勤労観、就職観を身につけることを目指します。

職業と人生Ⅱ

就職活動に備え、業界分析、企業研究や仕事の理解などのスキルを磨きます。

職業と人生Ⅰ

将来の仕事や職業をなかなかイメージできない学生のために、多様な進路があることを知ってもらいます。

いざ、就職活動へ

3年生の後期から、セミナーなどに参加し、2月から本格的にスタートします。4年生の初めには内定がもらえた学生が出てきます。公務員試験は6月ごろが最も多い時期です。



資格取得

FP技能検定、宅地建物取引資格試験など

1年

2年

3年

4年

ある一日の流れ みんな違う時間割

大学生になると、自分で時間割が決められます。ある一日の4人の時間割を比較してみましょう。

授業の予定	森君	斉藤君	園部さん	石原さん
	2~4講まで 4講の後アルバイトへ	1~4講まで びっしり授業がある 一日(苦)	1~3講まで その後、石原さんと レポート	2~3講のみ 公務員対策がんばるゾ!
1講		地域経済論		
2講		財政学		
3講	アジア経済論	社会政策	公共経済学	
4講	専門ゼミナールⅡ	専門ゼミナールⅡ	図書館でレポート作成	図書館でレポート作成
5講			帰宅	エクステンション センターで公務員対策
6講	アルバイトへ	帰宅	帰宅	



その他のカリキュラムの特徴

経済学部学びのきっかけをつくり、それを伸ばす 導入教育、基礎科目群、応用科目群

経済学の基礎と プレゼンテーション能力を育てる

——プロゼミナール、経済学入門

入学式直後、1泊2日の合宿オリエンテーションが行われ、経済学部学生が大学にとけ込めるように、仲間作り、教職員との親睦を深め、安心して大学生生活がスタートできます。プロゼミナールでは経済学のテキストを用いて経済学への誘いをするとともに、報告などをつうじてプレゼンテーション能力を育成します。また、「修学ポートフォリオ」という書式を用いて、履修モデルを理解し、将来の自分に向けた計画的な履修をアドバイスしています。

経済学入門A・Bでは、高校の政経と関連させて、経済学の基礎的知識と国際経済、日本経済の動きを知り、経済学の基礎を教えます。経済学入門Cでは、経済学部の各教員がその専門分野を紹介し、経済学への誘いをします。

文書・論文を書く上での能力を育てる

——論述作文から懸賞論文へ

全学共通科目の「論述・作文」は論文の準備に必要な技術としての情報の取捨選択の方法と文書の書き方の基本を習得します。経済学部ではこれを必修科目として重視しています。さらに、経済分野に関する懸賞論文制度を設けています。テーマについて調べ、それをまとめる訓練を行っています。昨年は6名が応募し、最優秀論文が経済学部ホームページに公開されています。

経済学の基礎をつくり、 さらに発展させる

——基礎科目群、応用科目群

経済学の基礎をつくるため「基礎科目群」をおき、さらに「企業・政府科目群」、「地域・国際・科目群」で企業・産業、政府、地域経済、国際経済の各分野について理解を深めていきます。

各学年に配置した充実したゼミナール教育

経済学部ではゼミナールを各学年に配置しています。ゼミナールは、通常多人数が受講する一般的な講義と異なり、少人数で行われます。そのためある分野に関する勉強を深めたり、基礎的な能力を高めたりすることができます。先生やゼミの学生の間で緊密にコミュニケーションがとれます。ゼミ合宿などもおこなわれ、人間的な交流も深められます。

国際感覚を実践で養う

——外国書講読C

外国書講読Cは語学を体感的に学ぶことを目的として開講されている科目です。今年度は中国語の文献を辞書片手に読み、中国の経済・社会を理解した上で9月に中国へ行き、実際の中国経済・社会を体感します。さらに北京農学院大学の学生と交流をして、「万里の長城植樹活動」などを行うことにより、文化なども学ぶことができます。

現実の経済の動きを知る—経済学特別講義、産業調査演習、インターンシップなど

実社会で活躍している人々の話を聴く

——経済学特別講義

昨年度は「くらしと金融」というテーマで北海道金融広報委員会の金融広報アドバイザーの6名の講師の方が金融とのかかわり方について講演して下さいました。生活の中でだまされたり、知らないで損をしたり、無計画な生活で自己破産をすることのないよう、必要最低限の「お金の知識」を身につけることができました。

このほか学部講演会などもあり、道外、道内の研究者の他に行政や社会人の方に講義の中でお話しいただくこともあります。

地域や産業、企業を実際に見て調べる

——産業調査演習、インターンシップなど

フィールドワークやデータを分析することにより地域や産業を分析する実習を伴う講義です。前回は、美瑛町での景観などを活用した観光によるまちおこしについて調査を行いました。美瑛町の観光、農業の現状について報告書を作成しました。本年度は、長沼町を予定しています。現地調査で収集した資料の分析、分析結果について議論を行い、最後に調査報告書を作成します。この他に一部のゼミナールでは、海外での研修、地域調査や工場見学を行っています。またインターンシップでは、企業に出向いて就労体験をすることにより、企業について知ることができます。



産業調査演習

TAを用いた講義など

経済数学、ミクロ経済学などの科目では毎回演習問題や小テストを出し、TA(ティーチング・アシスタント)が添削して返却する講義方法を行っています。これにより学生が自分の勉強した内容をより深く理解することができます。このほかに小テスト、リアクションペーパーやTIESなどのeラーニングを行っている講義もあります。また携帯電話を用いた講義も今年度企画されています。

EREの課外講座

ERE(経済学検定試験)は、日本経済学教育協会が行っている経済学の検定試験です。3年前から、経済学部ではEREミクロ・マクロを受験する学生のために対策講座を開講しています。この試験の評価は、得点によりS、A+、A、B+、B、C、Dの7段階に分けられます。4回のチャレンジで延べ33名の経済学部生がEREミクロ・マクロを受検しましたが、このうち、19名の学生がBランク以上の成績を収め、中にはB+やAといった好成績をおさめる学生が出ています。

卒業生の声

番水 淳哉 深川市役所勤務

平成21年3月卒業 深川西高校出身



私の札幌学院大学でのキャンパスライフは、一生懸命遊んで、一生懸命勉強した4年間でした。

大学ではさまざまな事にチャレンジでき、自分次第で可能性をどんどん広げる事が出来ます。目標をもって物事に取り組むかどうかで大きな差が出来ます。ただ講義に出て単位を取り卒業するだけでは、正直もったいないです。卒業した時、札幌学院大学で何をしてきたか、胸を張って言えるよう頑張っていました。

私はただ漠然と公務員になりたいと思って入学しました。しかし、いざ入学すると周りにはもっと具体的な目標をもった仲間がたくさん居て、焦りを感じました。将来のことを考え、大学2年生から学内の公務員講座を受講し、公務員試験対策を行いました。

また、大学では学業だけではなく、4年間所属していた体育会スキー部からも多くのことを学びました。貴重な経験や仲間という宝物を得る事が出来ました。大学3年生ではキャプテンも任せられ、この時の経験は今の自分の大きな力になっています。現在は深川市役所に勤務していますが、これからも目標をもって物事に取り組み、市民の方々の為に働きたいと思っています。札幌学院大学の学生が社会で活躍し、ビジネスの場では会う事を楽しみにしています。

樋口 彩子 イオン北海道勤務

平成21年3月卒業 石狩南高等学校卒業

私は、ジャスコの紳士服売場で勤務しております。店舗での仕事は、接客販売・売場作り・商品要望・数字管理等、売場の運営全般です。小売業は、お客さまの声を一番近くで聞くことのできる職業であり、その声や時代に合わせて常に変化していかなくてはなりません。また、イオンでは、社会貢献活動に力を入れており、植樹やクリーン活動、イエローシートキャンペーン等、地域に密着したお店づくりを行っております。

地域に根ざしたお店づくりを考えるにあたり、その地域の特徴や時代背景を知ることが、重要なことです。

大学の地域経済のゼミでは、1つの街を例に、その土地が法律や時代により変化していく様子を学び、この考え方が、地域に根ざしたお店づくりを考える基本になっております。そして、4年間続けたサークル活動では、たくさんの人に出会い、みんなでの一つのことをやりとげる大変さや喜びを感じることができました。今、社員として売場の中心となって仕事を進めていかなくてはならない立場であり、サークル活動はとても貴重な経験となりました。



Voice

キャリア支援課による就職支援、エクステンションセンターによる資格支援などがあります。

①全学共通科目「職業と人生」

全学共通科目に「職業と人生Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」をもうけ、3年生までに主体的に自己の進路を選択・決定できる能力や勤労観、職業観を身につけていきます。

②キャリア支援課による就職支援

キャリア支援課では「学部別就職ガイダンス」などの就職支援が行われます。3年生の10月からは個別面談を実施し、卒業後の進路について具体的に考えていきます。また年間を通じて、経験豊富な専門のキャリア・アドバイザーを置き、個別の就職相談やサポートを実施します。このほかキャリア支援課では2月と8月の年2回、学内で企業説明会を実施しています。昨年度は約200社の参加がありました。

③エクステンションセンター

本学では、1998年度から在学生の進路・就職にあたり、キャリアアップを目指すことを目的にエクステンションセンターを設置しています。公務員、行政書士、宅地建物取引主任者、FP技能士、旅行業務取扱管理者、簿記、医療事務、Word、Excelといった情報処理系資格などの講座が通常の専門学校よりも低い受講料で用意されています。この講座を受けた学生が札幌市などに合格しています。

NEW ④資格取得奨励制度をスタート

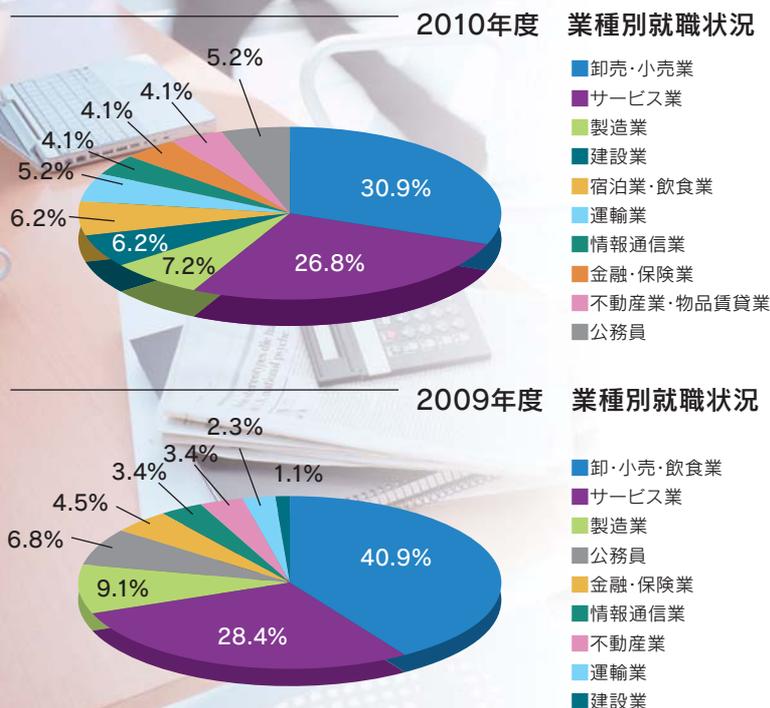
経済学部では、今年度から経済に関する資格として、FP技能検定と宅地建物取引資格試験を本学のエクステンションセンターを受講して合格した学生に、受講料を全額補助する奨励制度を実施します。資格取得に向けたがんばりに、経済学部は応援します。

2010年度の就職状況

2010年度の就職戦線は、昨年度よりも厳しいものがありました。その中で経済学部生は健闘しています。

経済学部の内定先(2011年3月末)を業種別にみると、卸売・小売業が30.9%とトップでした。次いでサービス業(26.8%)、製造業(7.2%)、建設業(6.2%)、宿泊飲食業(6.2%)、運輸業(5.2%)、公務員(5.2%)の順となっています。

産業分類が変わったため、単純な比較ができませんが、昨年3月末と比べて、構成比の変化の大きいものについてみると、建設業の比率が上がり、製造業の比率が下がっていることがあげられます。



経済学部の主な就職先

<p>金融・保険業 三菱東京UFJ銀行、北洋銀行、北海道銀行、みちのく銀行、札幌信用金庫、旭川信用金庫、帯広信用金庫、釧路信用金庫、北海信用金庫、網走信用金庫、大地みらい信用金庫、室蘭信用金庫、北海道労働金庫、札幌中央信用組合、空知商工信用組合</p>
<p>卸・小売業 イオン、スズケン、ツルハ、ホームマック、ほくやく、アインファーマシーズ、サッポロドラッグストア、ヨドバシカメラ、ヤマダ電機、ベスト電器、コープさっぽろ、北海道リコー、アレフ、ムラタ、富士メガネ、北海道ゼロックス、イオン北海道</p>
<p>建設・不動産 ミサワホーム北海道、積水ハウス、東日本ハウス、明和地所、住友不動産販売、北海道セキスイハイム</p>
<p>製造業 マキタ、日本ケミファ、日本食研、ナガワ、六花亭製菓、日本デジタル研究所、トーモク、きのとや</p>
<p>運輸・情報通信業 日本通運、北海道旅客鉄道、東日本旅客鉄道、JALグランドサービス、ソフトバンクモバイル、ナラサキスタックス ANA千歳空港株式会社</p>
<p>サービス業 カナモト、ホクレン農業協同組合連合会、セコム、リクルート、日本郵政株式会社、カラカミ観光、加森観光、共成レンテム、北日本広告社、北海道中小企業同友会</p>
<p>公務員 道内市町村職員(札幌市役所、深川市役所、土別市役所など)、北海道警察、他都府県警察、自衛隊</p>

経済学部は今年度地方会場でもAO入試を実施します!

1. 経済学部のアドミッションポリシー(求める学生像)

高校において公民科、地理歴史科などの学習を通し、経済学を学ぶために必要な基礎学力を持つとともに、経済に関心を持ち、大学において経済学の専門知識と分析能力を深め、社会の発展に貢献しようとする意欲を持つ方で下記のいずれかに該当する人。

- (1) さまざまな業種にわたって、ひろく産業社会で活躍することを目指す人
- (2) 幅広い教養と専門知識を求め、教養豊かな社会人を目指す人
- (3) 国際的な視野を持って、国際社会で活躍したいと考えている人
- (4) 地域的な視点を持って、地域社会で活躍したいと考えている人
- (5) 北海道の産業並びに福祉・文化の向上に貢献したいと考えている人

2. 経済学部 AO入試Q&A

Q A方式とB方式は何が違うの?

エントリー期間などの日程が異なるのはもちろんのこと、重視する点も異なります。A方式は課題重視型で、与えられた課題を着実にこなせる点を重視しています。B方式はゼミナール重視型で、ゼミナールなどで積極的に発言できる点を重視しています。

Q 課題ってどんなことをやるの?

A方式、B方式で課題は異なります。課題で出題されるのは、経済に関する課題文を読み、その課題文の要約や自分の意見をまとめる課題、経済に関する話題を調べ、それに関する自分の意見をまとめる課題などがあります。課題の完成度が低い場合、出願許可が出ないことがあります。どれだけ課題に真剣になれるかが重要です。また、課題の進め方がわからない、内容を相談したいエントリー者のために、質問対応の期間を設けています。

3. 日程

本学会場

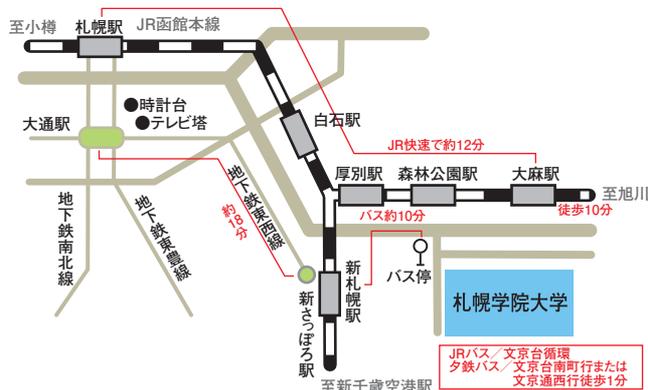
日程	エントリー期間	第1回面談・授業体験等	課題提出	第2回面接	出願許可	出願期間	選考内容	合格発表
A方式	6月24日~7月14日	7月24日	8月29日	9月24日	10月7日	10月7日~18日	書類審査	10月28日
B方式	7月22日~9月2日	9月下旬に随時		10月1日 ゼミ参加				

地方会場

エントリー期間
旭川・北見 会場:6月9日~6月24日
帯広・釧路 会場:7月22日~8月26日
函館・青森

その他詳しい情報はAO入試ガイドを参照するか、

札幌学院 AO



タイトルのWINMANは、Wisdom, INtelligence, huMAN talentから作り上げた造語です。この三語は、大学生として身につけていただきたい能力と知識を表現したものです。

札幌学院大学までの交通機関

- J R / 札幌駅~大森駅(普通で19分、快速で12分)南口下車、徒歩10分
- 地下鉄 / 大通駅~新さっぽろ駅(約18分)バス乗り継ぎ10分
- JRバス / 新さっぽろ駅~札幌学院大学正門前(文京台循環:10分)下車、徒歩1分
新さっぽろ駅~北翔大学・札幌学院大学前(江別行、大森11丁目行:10分)下車、徒歩5分
- 夕鉄バス / 新さっぽろ駅~札幌学院大学正門前(文京台南町行:10分)下車、徒歩1分

問い合わせ先

札幌学院大学

札幌学院大学入試課 〒069-8555 北海道江別市文京台11
TEL/011-386-8111(代表) FAX/011-386-8133(入試課直通) E-mail nyusi@ims.sgu.ac.jp
札幌学院大学ホームページ <http://www.sgu.ac.jp/> 入試テレホンサービス 0120-816-555